

# 平和運動フォーラム石狩地域協議会

平和運動フォーラム  
石狩地域協議会

〒060-0806  
札幌市北区北6西7  
村上 真仁

TEL: 011-747-1880

もてこまひかない。県外への移転が増えている。」との

路氏より「除染しても放射線量がさがらない。大地が

つまた、道庁フォーラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中



「すべての原発をなくそう!」  
デモ行進に出発する参加者

行委員会より「原子力政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで

は、『震災から考える、人間の安全保障』で

「生命の尊厳」を

テーマに、震災、原発

被災をめぐる情勢や

「国策」のもとで犠牲

を強いられている沖縄

問題について、パネリ

ストが討議を行った。

最終日には、被災地

からの訴えをはじめと

した特別提起のあと平

和フォーラム事務局長

結集軸に!」とあいさ

つまた、道庁フォー

ラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中

路氏より「除染しても放射線量がさがらない。大地が

もてこまひかない。県外への移転が増えている。」との

「自然エネルギーに転換しよう!」と対岸に向けて声をあげた。

「大間原発はいらない!」

「自然エネルギーに転換しよう!」と対岸に向けて声をあげた。

11月4日、山形市において、第48回護憲大会が開催され、全国から2500名が参加した。

平和フォーラム江橋代表の主催者あいさつの後、実行委員会より「原子力政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで



被災地福島県からの報告  
=最終日、特別提起にて

2日目はそれぞれ7つの分科会に分かれて討論を行ったほか、「日本国憲法から見た東日本大震災」というテーマで宮城・福島を訪問するフィールドワークも行われ、特に訪問先の福島県飯館村では現在も高い放射線量が観測されているなど、苦しい状況下でも、様々な課題に前向きに取り組み現地の人々の姿があった。

最終日には、被災地からの訴えをはじめとした特別提起のあと平和フォーラム事務局長

○事務局だより○  
護憲大会で、福島・宮城・沖縄と3名の方からそれぞれ報告がありました。この中で、震災があったことよって被災地は皆が被害を知り、心配しましたが、沖縄はずっと、どこか「ひとこと」にされて続けていたと改めて感じました。(む)

「やめるべ、大間原発!」

北海道集会在開催され、全道各地から1500名が参加した。

はじめに、北海道平和運動フォーラム山田代表が「フルMOXなど、事故が暴走したときに止める事もできない。原発をやめることに、何ら躊躇もないという声をさらに大きな結集軸に!」とあいさつ

つまた、道庁フォーラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中

路氏より「除染しても放射線量がさがらない。大地が

もてこまひかない。県外への移転が増えている。」との

「やめるべ、大間原発!」

北海道集会在開催され、全道各地から1500名が参加した。

はじめに、北海道平和運動フォーラム山田代表が「フルMOXなど、事故が暴走したときに止める事もできない。原発をやめることに、何ら躊躇もないという声をさらに大きな結集軸に!」とあいさつ

つまた、道庁フォーラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中

路氏より「除染しても放射線量がさがらない。大地が

もてこまひかない。県外への移転が増えている。」との

『生命の尊厳』を重視し、地方が主体となった政治を

6日にかけて、山形市において、第48回護憲大会が開催され、全国から2500名が参加した。

平和フォーラム江橋代表の主催者あいさつの後、実行委員会より「原子力政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで

は、『震災から考える、人間の安全保障』で「生命の尊厳」をテーマに、震災、原発被災をめぐる情勢や「国策」のもとで犠牲を強いられている沖縄問題について、パネリストが討議を行った。

最終日には、被災地からの訴えをはじめとした特別提起のあと平和フォーラム事務局長

2日目はそれぞれ7つの分科会に分かれて討論を行ったほか、「日本国憲法から見た東日本大震災」というテーマで宮城・福島を訪問するフィールドワークも行われ、特に訪問先の福島県飯館村では現在も高い放射線量が観測されているなど、苦しい状況下でも、様々な課題に前向きに取り組み現地の人々の姿があった。

最終日には、被災地からの訴えをはじめとした特別提起のあと平和フォーラム事務局長

## やめるべ大間原発! 10.29 全道集会

さような報告があった。取り組

み報告では、大間訴訟の会の竹田氏が「大間原発の特殊性を多くの人に知ってほしい。この訴訟に関心を寄せてほしい。」と訴えた。

最後に、「福島原発事故で日本の原発の安全神話は崩れた、私たちの命と暮らしを守るため再生可能な自然エネルギーへの転換を!」と集会アピールが採択され、その後、参加者はデモ行進を行い、「大間原発はいらない!」「自然エネルギーに転換しよう!」と対岸に向けて声をあげた。

危険度がきわめて高いフルMOX燃料を使用

大間原発は直ちに建設中止を!



函館にも甚大な被害が想定される大間原発

青森県大間町に建設中(東日本大震災の影響で工事中断)の大間原発は、MOX燃料を全炉心で使用する商業用

では世界ではじめてのフルMOXによる運転が予定されている。これは通常の原発よりも炉心内の出力が偏るなど、危険な要素が新たに加わることとなる。大間原発は、函館市戸井地区まではわずか23\*、函館市中心部までは30\*圏内に位置している。

第48回護憲大会

さようなら原発1000人アクション  
脱原発・持続可能で平和な社会をめざして

## 石狩地域協議会 第12回定期総会

と き : 2011年12月2日(金) 18:00 ~

と ころ : 江別市民会館37号室

参加報告 : 締め切り 11月25日(金)

までに石狩地域協議会事務局へ